世界経済の構造変化と 今後の日本企業

東京大学大学院経済学研究科柳川範之

デジタル化の大きな変化

- ・コロナを機に、一気に加速
- 単に、IT化が進むというわけではない
- もちろん、ネット化が進むというわけではない

- ・もっと大きな産業構造の変化
- 新しい産業が現れる
- ・産業の垣根が崩れる
- ビジネスモデルや産業構造の基盤がまったく変わる

経済の現状

先進国の政策:

危機時対応からの脱却が鮮明に 将来の不確実性は高いが・・・

・大きな価値観の変化・構造変化

グリーン・SDG s 資本主義への懐疑 デジタル化・コンタクトレス グローバル化の進展

国際政治情勢の不安定化

マクロでみることの限界

- 平均の動きをみたのでは、分からない!
- ・コロナで大きな打撃 飲食・観光業 コロナにもかかわらず伸びる産業 Eコマース
- 低所得化と高所得化の動き地域によってもばらつき

今まででも、そういう面は当然あった しかし、変化の向きが逆だったりする点で インパクトは甚大

マクロでみることの限界

セミマクロ情報を把握し、分析することの重要性

それにどう対処した、政策や経営をするか コロナおよびコロナ対策に関する評価も この点が重要

デジタル化がもたらす構造変化

- リアルタイムデータ解析の進展 データビジネスへの影響 プラットフォームビジネスへの影響 プライバシーとの関係 国境を超えたデータ
- AI活用による、人の役割の変化どこまで使えるデータが整備できるか 組織を変えられるか

デジタル化

- 変化の原動力は、デジタル化・オンライン化
- 今までもそうだった!動きが加速しただけ!
- 今後の世界を変える大きな武器

それは、間違いない。 しかし、あくまで手段でしかない!

オンライン化で明らかになったこと

・もう一つの重要な発見(実感)は

時間と場所にとらわれない働き方が可能である

ことが明らかになったこと

5年以上前から主張してきたこと しかし、実感は薄かった 時間と場所に縛られない働き方ができる

この自由度のインパクトは とてつもなく大きい

今までとは次元の違う 多様な働き方が可能に

それをいかに企業の活力に結びつけるか

働き方の構造変化

- 細切れの時間で働くことが可能に
- ・一度に、複数の仕事が可能に
- 兼業・副業の拡大
- ・他地域、多国籍で働くことが可能に
- 1人で大きな仕事が可能に

多様な働き方の実現が、

より人々の充実した生活の実現につながる

都市から地域への人材移動

今までにはできなかった 東京一極集中の是正が可能に

リモートワークによる関係人口の増加

副業的に地方で働く

二地域居住・二地域就労による地域の活性化

デジタル化がもたらす構造変化

細切れの時間活用 マルチタスク化への展開 働き方の大きな変革 二地域居住・二地域就労は応用例

・より大きな視点でいえば、 自律分散型の組織・社会構造に

デジタル化が起こした構造変化

- 日本企業の枠組みを根底から揺さぶる
- 一企業だけでなく、経済全体で発想を転換する 必要性
- その源泉は、供給側の「イノベーションの民主 化」

供給側の「イノベーションの民主化」

今まで 大企業でしかできないことが圧倒的に多かった ⇒大企業で「長年」勤めることが 重要だった

デジタル化によって アイディアを形にするコストが大幅に低下 個人が、簡単に自分のアイディアを形に 多様なアイディアが社会を変える時代に

伝統的日本企業における課題

- ・遅い昇進
- リスクを取りにくい評価システム
- 新卒一括採用

 \Rightarrow

方向性が見えている大型案件にはフィット 経験に基づく知見が重要 失敗のコストが大きい

⇒ しかし、今の構造は違う!

伝統的日本企業における課題

アイディアをできるだけ、早く、たくさん、実現させる

失敗を許容し、良いものを生き残らせる

(先行者利益が大きいこともポイント)

そういう構造になっていない

求められる企業内の変革

- 出来るだけ意思決定をフラットにする
- 若い世代に意思決定をさせる
- 多様なアイディアをできるだけ具体化
- 一つの方策小さな案件、小さなプロジェクトを たくさんトライする仕組みづくり

組織改革が不可避

- DXは、当然のことながら大きな組織変革を伴う
- 新しい横展開の構造をつくる
- 組織のフラット化
- 人の再配置
- 権限構造の再設計

オフィス空間の構造変化

- リモートとリアルのハイブリッド オフィス空間のあり方を抜本的に変える
- 柔軟性のあるオフィス空間の構築 ときどき使うオフィス
- 対面の良さを実現できる空間設計 セレンディピティをどう実現させるか

オフィス空間の構造変化

- ワーケーション的空間演出都心部でもワーケーションはできる
- 巨大なIoT装置としてのオフィスをどう生かす データ解析 データ活用 それを活かしたオフィスづくりの可能性
- 動くオフィスも十分にあり得る